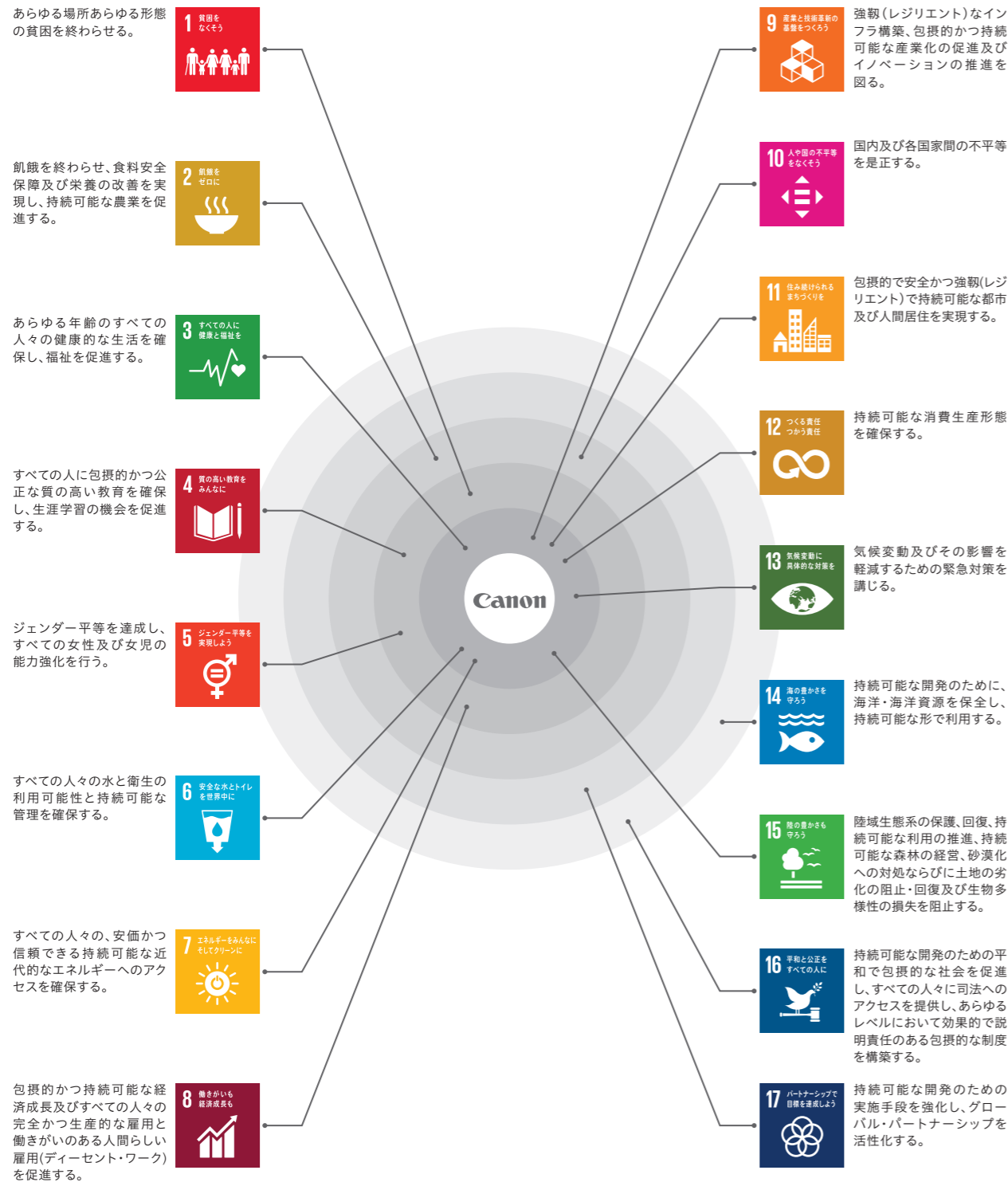


## よりよい社会をめざすキヤノンの活動とSDGsとの関連

キヤノンは、自社の活動が社会や地球環境に対して及ぼす影響と「持続可能な開発目標 (SDGs)」との関連度合いを、次のページのステークホルダーアンケートの結果も踏まえ、下の図の通り整理しました。

円の中心(Canon)から各SDGアイコンまでの距離が近いほど、キヤノンとの関連性が高いことを示しています。



### ステークホルダーからの期待

キヤノンは社会の要望に応えるCSR活動を徹底するため、毎年アンケート調査を行っています。2016年よりSDGsについても意見を伺っており、2017年もキヤノンが解決に寄与するべき目標や、どのような貢献に期待するかを確認しました。

→ステークホルダーアンケートの調査概要は「CSRマネジメント ステークホルダーアンケート調査」(→P14)をご覧ください。

#### キヤノンに貢献を期待するゴール



SDGsで掲げられた17のゴールのうち、ステークホルダーからの期待が高かったのは、高い順にゴール12、ゴール13、ゴール9でした。

#### ご意見の例

- 持続可能な消費パターンは環境に大きな影響を与え、企業の大きな部分を占める(アジア・大学、研究機関)
- 医療事業に今後さらに注力するとのことで、期待している(欧州・顧客)
- 気候変動は社会最大の課題であり、キヤノンのような先進企業が大いに取り組むべき(米州・投資家、アナリスト)
- 最先端の技術を駆使した、新たな価値創造に期待している(日本・サプライヤー)

### SDGsに貢献するキヤノンの主な活動例

キヤノンはかねてより、社会課題に貢献する価値を提供してきました。2017年においても、さまざまな活動でSDGsの達成に貢献する成果を上げています。

→以下の活動のほか、SDGsに貢献するキヤノンの活動についてはCSR活動報告(→P23~118)をご覧ください。

#### マテリアリティ

##### ■ 新たな価値創造、社会課題の解決



##### 安心・安全な社会づくり

キヤノンは社会を見守る「目」で人々の安心・安全を守っています。2017年は、まちづくりに貢献するネットワークカメラシステムを横浜市に導入したほか、技術力を生かしたソフトウェアを発売しました。

→詳細は「活動ハイライト1」(→P15)をご覧ください。



##### ヘルスケアの増進

キヤノンは成長を続けるヘルスケア産業で医療機器の技術を革新しています。2017年は、医療機関と協働し、世界初となる高精細CTを発売しました。

→詳細は「活動ハイライト2」(→P17)をご覧ください。



#### マテリアリティ

##### ■ 地球環境の保護・保全



##### 資源循環型社会の実現・有害物質廃除と汚染防止

キヤノンは限りある資源の循環利用によって持続性の向上に努めています。2017年は、資源生産性の最大化を追求した最新鋭のリサイクル工場キヤノンエコテクノパークが完成しました。

→詳細は「活動ハイライト3」(→P19)をご覧ください。



##### 低炭素型社会の実現

キヤノンは製品ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>排出量削減を推進しています。2017年も引き続き、原材料、事業拠点活動、物流、お客さま使用時のすべての段階でCO<sub>2</sub>排出量の削減活動を推進しました。

→詳細は「活動ハイライト4」(→P21)をご覧ください。

